

製品名: LMCD1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86913**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW:

抗原情報

遺伝子名	LMCD1
別名	Dyxin; LIM and cysteine-rich domains protein 1
遺伝子ID	29995
SwissProt ID	Q9NZU5
免疫原	ヒトLMCD1の合成ペプチド

背景

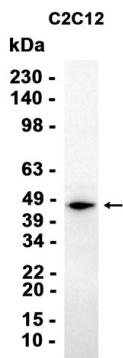
この遺伝子は、LIMドメインファミリーに属するジンクフィンガータンパク質をコードしています。コードされるタンパク質は、N

末端のシステインリッチドメインと2つのC末端のLIMドメインを含んでいます。LIMドメインの存在は、タンパク質間相互作用への関与を示唆しています。このタンパク質は、他の転写因子と共に転写の共調節因子として機能する可能性があります。選択的スプライシングにより、この遺伝子には複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年5月]

研究分野

-

画像データ



LMCD1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した C2C12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。